

小中学校の適正配置はどうなる?!

砂川市教育委員会は昨年6月22日に
右の内容を決定しました。

【学校統合の時期】
中学校 令和5年度
小学校 令和8年度

【小中一貫教育の推進】
小中一貫教育については
「義務教育学校」とする。

中学校の統合は令和5年度

砂川中学校



【学校生活に係る事項】

- ★校 名：砂川市立砂川中学校
- ★校 歌：砂川中学校のもの
- ★校 章：砂川中学校のもの
- ★校 旗：砂川中学校のもの

【スクールバスに関わる事項】

- ★路 線 数：3路線
- ★停 留 所 数：1路線3箇所
- ★バスの台数：3台

【統合時の通常学級の生徒数】

	級 数	生 徒
1年生	4	106名
2年生	3	105名
3年生	3	113名
合 計	10	324名

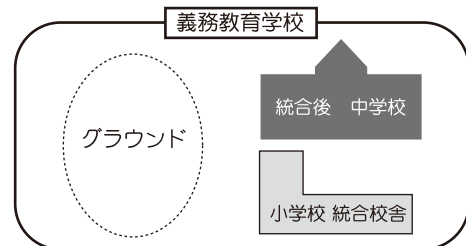


石山中学校

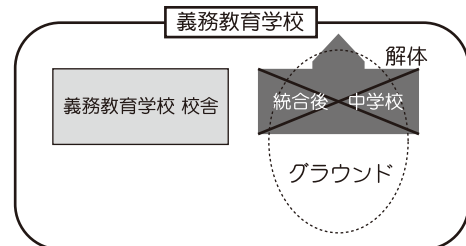
まだ決まっていない大事なこと

令和8年度には5校の小学校と2校の中学校を1校にして「義務教育学校」にしますが、中学校を残すか、新しい校舎を建設するのか決まっています。

1. 小学校(児童用校舎)を建設し、中学校と併設する。



2. 義務教育学校として新校舎を建設する。



検証！当別町の義務教育学校「とうべつ学園」

当別町の人口
15,445人(R4.1.1現在)

一体型義務教育学校「とうべつ学園」校舎イメージ図



- ★敷地面積:43,309.77㎡ ★構造規模:鉄筋コンクリート造(一部鉄骨) 3階建て
- ★建物面積:校舎9,361.06㎡・屋内運動場2,293.48㎡ ー基本設計 建設概要よりー

当別町は小中一貫の一体型義務教育学校「とうべつ学園」を今年4月に開校させます。

気になるのが「とうべつ学園」の事業費です。総事業費は約60億円。うち、新築工事費は約49億円です。(参考:基本設計時の概算事業費より)

生徒数は砂川市の場合774名(令和8年推計)、当別町は427名で約1.8倍になります。「とうべつ学園」より校舎規模も大きくなると事業費も多くなることが予想されます。

砂川市の今後の義務教育の在り方を色々な角度から、より慎重に議論を重ねる必要があると考えます。



市民の声 所属議員

小黒 弘

議会運営委員
総務文教委員

発行にあたり

砂川市議会では議員一人に対して月1万円の政務活動費が交付されています。「市民の声」は「市民の声だより」を発行し有効に活用させていただいています。皆さまから読後のご感想、ご意見などいただければ幸いです。



さらに活動詳細を知りたい方は「おぐろ弘のホームページ」にアクセスしてください。「おぐろ弘」と検索すればご覧になれます。